

平成29年度認定こども園評価(保護者)のお知らせ

平成30年 3月 15日
認定こども園下館聖母

12月に「認定こども園評価」を実施させていただきましたが、保護者の皆様にはお忙しい中ご協力いただきありがとうございました。集計結果が出ましたのでご報告させていただきます。そして、この認定こども園評価を参考によりよい保育ができるように取り組んで参りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

(回答者全22名)(%)

項目	内容	評価結果		
		A	B	C
自ら学び 自ら考える力を 育てる教育	1) 先生は、わかりやすい教育をしている。	82	18	0
	2) 園児は、製作(作ること描くこと)や文字(読み書き)に興味を持っている。	73	23	4
	3) 園児は、正課・専門クラス(英語・体操・ピアノ・スイミング)を楽しみにしている。	73	23	4
	4) 園児は、本を読むことを楽しみにしている。	64	27	9
心の教育	1) 園児は、園に行くことを楽しみにしている。	73	23	4
	2) 先生は、疑問や相談をよく聞いてくれる。	86	14	0
	3) 先生は、良いことや努力したことをほめてくれる。	95	5	0★
	4) 先生は、悪いことをしたときちゃんと指導してくれる。	91	9	0★
	5) 園児は、園に仲良しの友だちがいる。	77	23	0
	6) 園児は、明るくあいさつしている。	41	59	0◇
	7) 園では、楽しい行事が行われている。	82	18	0
環境	1) 園児は、遊具を使った学びをしている。	64	27	9
	2) 園は、清掃が行き届き、きれいである。	77	23	0
	3) 園は、季節の花がありきれいである。	55	36	9
健康・体力	1) 園児は、外で元気に遊んでいる。	95	5	0★
	2) 園児は、給食を喜んで食べている。	82	18	0
	3) 園児は、園生活のルールが身についている。	77	23	0
	4) 園は、危険な場所がなく安全である。	50	41	9
	5) 園児に、自分のことは自分で取り組むように躰をしている。	59	41	
その他	1) 園児は、地域の人からあいさつされたり、言葉をかけられたりしている。	45	50	5◇
	2) 家庭で、あいさつや生活態度などの躰をしている。	59	41	

評価: A:よくあてはまる B:あてはまる C:あてはまらない

★子どもたちは積極的に戸外で遊び、園に楽しく通うことができているようです。私たち保育教諭は、今後も、子どもたちの心の育ちに寄り添いながら、成功や努力を認めて伸ばしたり、失敗をしてしまった時にも励まし、導いていけるよう日々保育していきたいと思っております。

◇挨拶をする事は子どもたちのコミュニケーション能力のひとつとして、とても重要なことです。園や家庭でも、まず声にだして挨拶をすることを指導しながら、職員・親が見本となり、子どもたち自ら習慣としていけるようにしていきたいものです。

～その他、ご意見・ご要望について～

- ・とてもよく見て下さり、本当に感謝しています。毎日楽しそうに登園する我が子を安心して任せられる素晴らしい園だと思っ
ています。
- ・いつも細かい所まで見て下さりありがとうございます。園に通っているおかげで娘の日々の成長が感じられてとても嬉しく
思っています。
- ・英語、体操を子どもがとても楽しみにしています。少ない時間だが、これだけ子どもの心をつかんでいるので、先生方の指
導がとても良いのだと思います。
- ・園庭で元気に遊ぶ時間が多く、健康的でとても良いです。集団生活を通して、感謝すること・反省することなど生きるうえで
大切なことを自分なりに身につけながら成長しているように感じます。
- ・明るく丁寧なご指導ありがとうございます。子どもは園に行くのを楽しみにしています。
- ・滑り台で、何人か子どもが登るとぶつかったりして、下に落ちそうになっている所を見て怖く感じた。
ネットははって下さってはいるが、万が一の時のために下に薄いマットやクッション材のようなものがあれば、より安心に思
います。
⇒業者等と相談し、対応を考えたいと思います。
- ・運動会の場所取りで並んでいるときに、割り込みをする人が去年も今年もあったと聞いています。(遅く来て、列に並ば
ず、
門の近くにずっといて、門が開いたらすっと入る。)並び方や整理券を配る、担当者を立たせるなど、やり方を変えたほう
が
いいと思います。
⇒モラルを守っていただくようにお手紙等で周知し、当日は職員や役員さん等にご協力していただき、改善していくよう
検討します。
- ・預かりの部屋から帰る時、「さようなら」と靴を履いて帰るまで見送ってくれる先生もいれば、子どもの事を外に出してすぐ
部屋に入ってしまう先生もいる。靴を履いて帰るまで見送りをしてほしいです。
⇒その時の園児の数や状況によっては、十分に時間をかけて見送ることができないこともありますので、ご了承ください。
帰りの挨拶はきちんとして見送りできるよう心掛けていきます。
- ・滑り台側から園児が外に出ていた。(近所の人も慣れた様子で捕まえていた。)
⇒園児が外に出たりしないようについで等を置くなど、早急に対応したいと思います。
- ・運動会・おゆうぎ会と会場が狭くなってきているので、別の場所での開催を考えてみてもいいのかも知れないと思いま
した。
⇒以前にもそのような意見はいただいています。他の場所での開催も、今後視野に入れて検討していきたいと思います。
- ・外国籍の日本語が不自由な保護者への、今以上のフォローをお願いしたいです。保護者同士での情報交換もしてい
た
いが、基本は園だと思えます。
⇒外国籍の方には園も日頃より気を付けていましたが、今以上に心配りをしたいと思います。
- ・今年度、産休以外で担任が変わることがありましたが、該当のクラスの保護者には、理由を知らせてもよいと思います。
(どうして、なんで？と不信感がつると思うので)
⇒プライバシーに関わることもありますので、お伝えできる内容の範囲でお知らせします。
- ・今後も、おゆうぎ会の衣装作りがあるのならば、つぼみ・ふたばもクラス役員を立ててもよいのでは？と思います。人数も
少なく働いている人ばかりで大変そうだったので、個々に持ち帰らせて作るなど検討してみてもは？
⇒来年度は、つぼみ・ふたば組もクラス役員を立てて、様子を見てみます。

認定こども園評価(職員)取りまとめ

項目	内容	評価結果		
		A	B	C
1. 教育・保育計画	1)園の教育理念・教育方針の理解	6	16	0
	2)教育・保育過程の編成	13	9	0
	3)指導計画の作成	12	10	0
	4)環境の構成	11	11	0
	5)評価・反省・見直し	13	9	0
	6. 1)食について連携して食育活動をしている	16	6	0
	6. 2)献立に旬の食材を取り入れ、100%手作りしている	20	2	0
	小計	91	63	0
2. 教育・保育のあり方、乳幼児への対応	1. 1)朝の登園時視診を大切にしている	19	3	0
	1. 2)危険はないか常に観察している	15	7	0
	2)乳幼児のみとりと理解	16	6	0
	3)指導者との関わり	17	5	0
	4)保育教諭同士の協力・連携	18	4	0
	小計	85	25	0
3. 保育教諭としての資質や能力・良識・適正	1)専門家としての能力・良識・義務	14	5	0
	2. 1)良識とマナー	15	4	0
	2. 2)組織の一員としての在り方	11	8	0
	3)教育・保育の楽しみ・喜び	15	4	0
	4)自己評価	11	8	0
	小計	66	29	0
4. 保護者への対応	1)情報の発信と受信	19	3	0
	2)協力と支援	19	3	0
	3)守秘義務の遵守	20	2	0
	4)対応上のマナー・良識	19	3	0
	5)クレームへの対処の仕方	22	0	0
	小計	81	11	0
5. 地域の自然や社会との関わり	1)地域の自然・人々との関わり	19	3	0
	2)小学校との連携	11	11	0
	3)地域への開放と支援	15	7	0
	小計	45	21	0
6. 研修と研究	1)職員構成	19	3	0
	2. 1)各クラスの連携が円滑に行われている	19	3	0
	2. 2)緊急時に対応できる体制が整えられている	16	6	0
	3. 1)園内外の研修・研究を定期的に行っている	18	4	0
	3. 2)保育に関わる知識や技能向上のための研修	13	9	0
	小計	85	25	0
7. 総合評価	合計	453	174	0

A:とても良く行われている。よくあてはまる。

B:行われている。当てはまる。

C:行われていない。当てはまらない

参考:評価結果を客観的に判断するため、又、時系列で自身の進歩の状況を見るために、評価結果に係数を掛けて総合点で管理するの一つの方法である。

$$A\text{評価の数} \times 2 = U$$

$$B\text{評価の数} \times 1 = V$$

$$C\text{評価の数} \times (-1) = W$$

$$\text{今回の評価点} = U + V + W$$

$$\text{例} \quad 13A \times 2 = 26$$

$$15B \times 1 = 15$$

$$5C \times (-1) = -5$$

$$\text{今回の評価点} = 36$$

<割合> A・・・72% B・・・28% C・・・0%

＜良かった点＞

- 職員は乳幼児一人ひとりの健康や安全に注意しながら保育ができています。
＜資料1項目2-1＞
- 職員は園児やその保護者に対して公平にマナーをもって接しながら保育することができている。＜3-2＞
- 乳幼児一人ひとりの育ちのために、職員同士が話し合っ^て協力しながら保育を行い、その成長の喜びを感じて仕事ができている。＜3-3＞
- 引き続き安全で美味しく、栄養のバランスのとれた給食が提供できている。＜1-6＞
- 個々の知識や技術向上のために、スキルアップ研修会にたくさん参加できた。
＜6-3＞

＜改善する点＞

- 園の教育保育理念や方針の理解が不十分である。＜1-1＞
- 非常勤の保育教諭に、指導計画や環境構成への理解が得られていない。
＜1-3・1-4＞

作成日 平成30年3月31日